

令和2年度

はちもうだより

5月 1日発行
第 1 号
担当 鈴木

学校長 あいさつ



はじめまして。校長の大坂 充（おおさか みつる）です。長い歴史をもつ八戸盲学校に勤務することになり、緊張とともにモチベーションも高まっております。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、明治24年2月4日に永洞清吉氏等の東奥盲人教訓会（盲学校）から始まり、昭和2年には私立八戸盲啞学校（聾学校を併設）となり、以来盲学校と聾学校が併設する学校として共に歩みを続けてきました。平成15年に新校舎が完成してからは情報交換スペースを中心に盲学校と聾学校の児童生徒が向かい合わせの教室で学んでいます。校長は盲学校と聾学校を兼務しており、八戸盲学校長でありかつ八戸聾学校長でもあります。（ちなみに、お給料は2校分はいただいておりません。）また、本校は寄宿舎も盲学校と聾学校のもの併設されており、学校、寄宿舎それぞれにおいて盲学校と聾学校が合同で行う行事や学習もあり、全国でも珍しい特色ある学校として歩みを続けています。

さて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界中に流行するなかで始まりました。本校のある八戸市内も感染者が出て、八戸市内の小・中学校は4月7日に入学式・始業式は行ったもののその後4月17日までは臨時休業となりました。そのような状況の中で本校の入学式・始業式を行うのか、授業を再開するのかについては本当に悩みました。学校において何よりも優先しなければならないのは、子どもたちの健康・安全だからです。子どもたちの健康・安全が保障されなければ、どんなに素晴らしい教育活動を行ったとしても、学校としては失格だからです。青森県教育委員会や文部科学省から出されている学校再開ガイドラインに基づき、学校でとれる安全対策をまとめ、学校再開を決定しました。このことは、保護者の皆様にお伝えしたところですが、何かお気づきのことや不安なことがありましたら、遠慮なくお聞かせください。

今年度は小学部に1名、中学部に2名の新入生を迎え、小学部10名、中学部3名の全13名でスタートしました。子どもたちが、安全な環境で、安心して学ぶことができるよう、教職員みんなで力を合わせて進めて参ります。また、保護者の皆様との対話を大切に、子どもたちの成長を共に支えていきたいと考えております。どうぞ本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

※ 平成14年～19年まで八戸聾学校で勤務していました。

写真は平成14年の八ろう祭です。アンパンマンの中が私です(^ ^)



新しい先生の紹介

4月1日、新たな職員を迎えて新年度がスタートしました。児童生徒の皆さんがよりよい学校生活を送ることができるように、転入職員一同頑張ります。

浅坂真紀子（あさざかまきこ）先生



盲学校から500mぐらいの所にある八戸市立第三中学校から来ました。

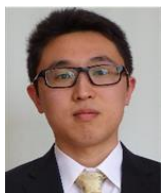
初めての学校で、初めてのことがたくさんあって、まだまだ慣れずにいることが多いですが、みなさんにいろいろ教えてもらって、覚えていきたいと思っています。毎日、たくさんの笑顔が見られるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

澤田 真紀（さわだまき）先生



八戸第二養護学校から来ました。出身は山梨県韮崎市で海のない県です。青森県、そして八戸市は海があり、海の幸が豊富なのも魅力的なところだと思っています。所持免許は数学ですが、体を動かすことが大好きで、休み時間等、皆さんと一緒に体を動かしながら、お話ができるといいなあと思っています。遠慮なく声をかけてくださいね。

三浦 誉八（みうらもとや）先生



七戸養護学校から来ました。盲学校に来るのは初めてですが、子どもたちと一緒に楽しく元気に過ごしていきたいと思っています。また、せっかく聾学校とも併設しているので、盲学校、聾学校にこだわらず関わりたいと思っています。初めてのことばかりなので、何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

寺沢直子（てらさわなおこ）事務長



八戸第一養護学校から来ました。前任校は平屋造りだったので、階段とエレベータがあるのがとても新鮮です。まだまだわからないことだらけですが、どうぞよろしくお願いいたします。

大嵐 範子（おおしま のりこ）先生



八戸聾学校で10年間勤務した後、十和田市立東中学校を経て、再び大好きなこの学校に戻ってきました。創立130周年を迎える伝統校で皆さんと学習できることを大変嬉しく思っています。皆さんと一緒にたくさんの経験を重ね、その努力についても苦労についても楽しみについても、共に語り合いたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

日山 美子（ひやまよしこ）先生



八戸第二養護学校から来ました。盲学校は、初めてですが、いろいろと勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

前山 秀子（まえやまひでこ）先生



初めまして。今年から盲学校でお世話になることになりました。右も左も分からない状態ですが、子供たちと一緒に成長していきたいと思っています。至らない点もあるかと思いますが、何卒、宜しく願いいたします。

よろしく
お願ひします

工藤 嵩大（くどうしゅうた）先生



この度、八戸高等支援学校から転任して参りました、工藤嵩大です。生徒のみなさんが楽しく充実した学校生活を送ることができるよう努めます。

好きなことはサッカーです。どうぞよろしくお願ひします。

相馬 さとこ（そうまさとこ）先生



青森第一高等養護学校から来ました。八戸の学校は初めてなので、子どもたちからいろいろ聞きながら早く学校に慣れたいと思います。

勉強や日常生活を通して、子どもたちと一緒に成長していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

赤石 莉菜（あかいしりな）先生



今年度八戸盲学校に勤務することになりました。全てのことが初めてですが、たくさん学び、成長していきたいと思ひます。皆さんと一緒に、楽しいときも悩んだときも、いろいろな時間を共有していきたいです。よろしくお願ひ致します。

石田 典子（いしだのりこ）先生



昨年度までは寄宿舎で、今年度からは学校の方でお世話になることになりました。

新たな出会いもあり、毎日が新鮮です。

そして、まずは皆さんの笑顔を引き続き見れることに感謝。「先生、寄宿舎は？」と聞かれることもあります。寄宿舎でも学校でも、とにかく沢山の時間を皆さんと共有できることを何よりも大切にしたいと思ひています。

上平 知由（うえたいらともゆき）先生



初めまして。今年度から寄宿舎指導員として勤務することになりました。未経験の分野なので色々ご迷惑をおかけするかと思ひますが宜しくお願ひ致します。

事務部 小川 美咲（おがわみさき）主事



青森第一養護学校から来ました。

9年前に八戸聾学校を卒業して、4年前に就労促進センター八戸でお世話になって、現在は八戸盲学校へ赴任することになりました。まさか、母校へ赴任するとは思わなかったのでびっくりです。何かと縁のある学校ですが、皆様のお役に立てられるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。